資料 17 - 1

公正な競争環境の確保について

２０１６年７月２８日
総　　務　　省
総合通信基盤局

NTT東日本・西日本のPSTNの役割

○ IP網への円滑な移行を図るためには、移行元である**NTT東日本・西日本のPSTNが現在果たしている役割や、今後のネットワーク構造の変化、技術・市場の動向**等を踏まえつつ、移行先の**IP網のあるべき姿の検討・整理**が必要。

○ NTT東日本・西日本の**PSTNは、これまで主に以下の役割**を担ってきた。

① **基本サービス等**(通話の発着信、緊急通報、ISDNディジタル通信モード等)**の提供** ［自社ユーザ向け］

② **競争基盤**(マイライン機能、中継選択機能等)**の提供** ［競争事業者向け］

③ **電話を繋ぐ機能の提供** ［自社ユーザ及び競争事業者向け］

NTT東日本・西日本のPSTNの主な役割

本日の検討事項

【PSTN】

【IP網】

①基本サービス等の提供

［自社ユーザ向け］

- 通話の発着信
- 緊急通報(回線保留機能付)
- ISDNディジタル通信モード 等

局給電可能

NTTの考え

- 基本的な音声サービスは利用可能
- ISDNディジタル通信モードは廃止
- 局給電維持。回線保留機能廃止（メタル回線）

②競争基盤の提供

［競争事業者向け］

- マイライン機能(通話料市場)
- 中継選択機能(通話料市場)
- 片方向番ポ(基本料市場) 等

NTTの考え

- マイライン機能は具備しない
- その代替として、メタルIP電話の中継選択機能、通話サービス卸の提供
- 双方向番ポに

③電話を繋ぐ機能の提供

［自社ユーザ・競争事業者向け］

- 各事業者は、都道府県ごとに接続するNTT東日本・西日本の交換機を介して、他事業者との接続を実現

NTTの考え

- 発着二者間で直接接続（電話を繋ぐ機能は具備しない）

検討項目の概要

1. 基本的考え方

(3)検討の時間軸

(2)円滑な移行に必要な基本的視点

(1)今後の固定電話の位置付け

2. 移行後のIP網のあるべき姿

(1)電話を繋ぐ機能の確保

- ハブ機能
- 精算
- 利用者料金の設定権　等

(2)NTT東西のアクセス回線・中継網

- ユニバーサルサービスへの影響　等
- 県間伝送路の扱い
- アクセス回線の範囲
- 無電柱化等に伴うメタルアクセス回線の撤去

(3)利用者保護

- 信頼性確保(技術基準)　等
- 適正な料金水準の確保(利用者料金規制)
- 移行に伴い終了するサービス等の扱い

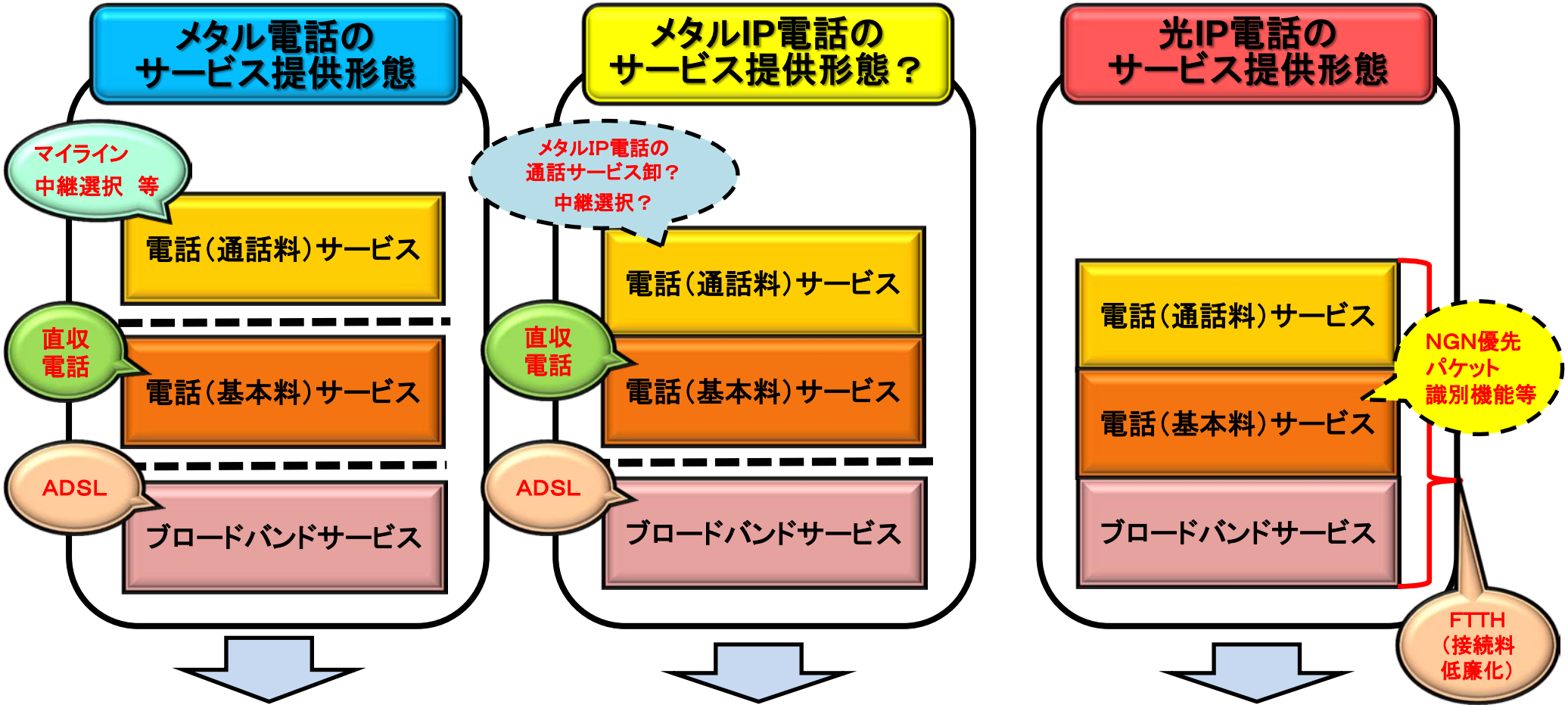
(4)公正な競争環境の確保

- 番号ポータビリティ　等
- 基本料市場(メタルIP電話)の競争
- 基本料市場(光IP電話)の競争
- マイライン機能の扱い
- 通話料市場(中継電話・国際電話)の競争
- 競争環境整備の在り方(電話・FTTH)※一部紹介

3. 円滑な移行の在り方

- 移行後に廃止・変更されるサービス・機能への移行終了までの対応　等
- PSTNの撤去費用の負担の在り方
- PSTNとの接続とNGNとの接続が並存する期間中の対応
- 移行開始までに必要な取組が完了しない事業者への対応

メタル電話、メタルIP電話、光IP電話のサービス提供形態と競争環境
（概念図）



各種競争環境の整備により、電話（通話料・基本料）やブロードバンドサービスを**個別に提供することが可能**

各種競争環境に加え、今後メタルIP電話の通話サービス卸が提供された場合、電話（通話料・基本料）とブロードバンドサービスを**個別に提供することが可能？**

電話とブロードバンドサービスは**一体での提供**
（今後NGN優先パケット識別機能等がアンバンドルされると、フレッツ光契約を前提として競争事業者が電話（通話料・基本料）サービスを個別に提供することが可能となる）